

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」



帝京平成大学

実施報告書

実施主体 人間文化学科 社会福祉コース

実施内容 平成25年11月6日の中野区主催の啓発活動への参加
平成25年11月15.16日の大学祭にて啓発活動の実施

①事前に取り組んだ内容

◎1年、2年生は児童福祉に関わる講義内で児童虐待やオレンジリボン運動について学び、啓発活動に配布したオレンジリボン、ミサンガの作成に取り組んだ。

◎3年生は児童・地域分野で実習した学生を中心に、グループワークで「虐待原因について」「家庭支援」「虐待防止への取り組み」などを研究し、結果を発表し考察を深め、ポスターを作製した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

◎11月6日(水)、中野区長・教育長・杉並児童相談所職員等とともに、児童虐待防止普及啓発のための「オレンジリボンキャンペーン」に、学生が参加しました。

◎11月15日(土)16日(日)の四季祭(中野キャンパス学園祭)にて啓発活動

◎上記の啓発運動で配布した。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

◎夏に児童養護施設や社会福祉協議会で実習を行ってきた3年生が中心になり「オレンジリボン運動」に取り組んだ。当初は、教員からの働きかけからスタートしたが、虐待についてのアンケートの実施やリボンだけではなく、ミサンガを作成して、若者にも身につけてもらえるのではないと、学生の考案で、1. 2. 3年の全生徒でミサンガ500本を製作し、リーフレットと一緒に学園祭時に配布した。

◎今回の運動への参加から、学生自身が調べて、考えていく中で、児童虐待の加害者は実母の割合が高いが、家庭内での「父親の育児参加」、「疾病やストレスが虐待の要因となる場合」など、机上で教員が教えるだけでは、通り過ぎてしまいがちな大切なことを学んでくれた。

◎単年で終わらせずに、継続的に活動していくことも重要だと実感している。

(社会福祉コース:齋藤知子)



上段:学園祭オレンジリボンコーナー 下段:中野駅配布